

## 組織目標評価報告書（令和5年度）

11

部局名:

大学院医歯薬学総合研究科

学域名:

医歯薬学域

部局長名:

成瀬 恵治

目標・取組		目標・取組の達成状況(成果)及び新たに生じた課題等 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	関連する 中期計画の番号	教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
	(2-1) (4-1) (5-1) (6-1) (7-1)	①博士課程における大学院充足率は125%(160/128)と、目標値を大きく超えることができた。 一方で修士課程医歯科学専攻は90%(18/20)、博士前期課程薬科学専攻は89%(33/37)、博士後期課程薬科学専攻は83%(5/6)と各課程において積極的な募集活動を行ったものの、充足率達成には至らなかった。定員充足に向けた新たな方策を引き続き検討していく。 ②AI関係の人材育成のために東北大・北大との共同講座「Clinical AI」でのAI人材育成を引き続き行った。また、医学系にAI関連講座立上を計画している。第4回AIの基礎ハンズオンセミナーを開催した。 ③留学生130人以上が鹿田キャンパスに在籍している。また、第7回留学生研究発表会を開催し100名以上の参加者を集めることができた。 ④大学院講義ではスライドの英語併記を行った。
②研究領域	関連する 中期計画の番号	研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
	(8-1) (8-2) (10-1) (10-2)	①科研費獲得率:・医学系(病院含む):33.3%、歯学系(病院含む):38.1%、薬学系:25%。申請率:医学系(病院含む):87.1%、歯学系(病院含む):126.4%、薬学系:291.7%。予備添削:医学系(病院含む):40件、歯学系(病院含む):4件、薬学系:3件。応募資格者のリストを作成し、資格者には必ず科研費を応募してもらうよう働きかけた。民間助成金486件応募した ②橋渡し研究プログラムを推進のため、中四国の各大学とさらに密に連携し、学内外からシーズを募り、優れたシーズを発掘した。R6年度橋渡し研究プログラム補助事業費交付予定額が増額された。 ③J-Hallにてブレインストーミング2023を開催し、100名以上の参加者で密度の濃い議論を行うことができた。また2024年に向けた準備も開始した。 ④Top10%論文、Q1ジャーナル論文、国際共著論文が重要性について構成員に周知するとともに、「成果を中心とする実績状況に基づく配分」での重要な項目であることを解説した。
<研究科の系としての目標・取組> ※研究科の系として独自の目標・取組がある場合は、こちらにご記入ください。		
③社会貢献(診療を含む)領域	関連する 中期計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
	(1-1)	①現在、24講座(継続21講座、R5.4.1新設3講座)が開設されている。 ②岡山大学臨床研究講習会を開催した。岡山大学特定臨床研究監査委員会を主催した。 ③岡山健康講座2023を鹿田会館にて5回開催した。好評につき引き続き2024年にも開催予定である
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
		① 種々のコンプライアンス関連の講習会・研修会への教職員の出席を促した。 ② 研究科のホームページの改訂を行ったが引き続きタスクフォースのメンバーで内容のupdateおよび英語版の充実を図った。 ③ 若手教員・女性教員の積極的採用や、研究助教の設定などを行い、研究・教育の場で活躍しやすい環境を作った。 ④ 教員の戦略的かつ適切な能力活用を促進する為に、医療教育センター内に教育支援、国際化に関連する部門を新設置し、教員の配置を含め戦略的かつ適切な能力活用を促進した。

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。